



# 楽農学校OB会だより 第2号 2009年4月



## OB会だより 第2号発刊にあたり



### 兵庫楽農生活センター楽農学校 OB会 会長 西村 一

2月28日生きがい農業コース第9期の修了式が行われました。36名の方達がめでたく修了されました。

修了者の中には、8期9期の2期にわたり研修された方、更に10期研修にチャレンジされる方も少なくないと聞いています。

ご自身の生活に農へのかかわり、農に対する熱き思いを持たれる方が多いことに、楽農学校の存在と、今後

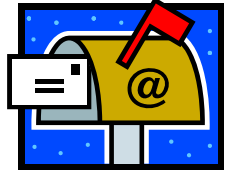
心強いものを感じます。

OB会も発足2年目に入りました。会員の親睦と技術の向上のため、まずは情報交流の組織を構築していきたいと思います。

今年はとくにホームページの立ち上げ。会員電子メールネットワークを作り会員相互の情報交流ツールの整備に努力したいと思います。

皆様の中でホームページ構築などお知恵を提供いただける方のご協力を期待しています。事務局でも私宛のメールでも結構です。ご連絡ください。

[h-nishimura@mqc.biglobe.ne.jp](mailto:h-nishimura@mqc.biglobe.ne.jp)



## 楽農学校OB会の発足・活動に際してのメッセージ

### 澤井 課長

「楽農の葉」で3年間使いましたが、チャールズ・チャップリンの言葉「人生について大事なものが、三つある。それは、**勇気と行動力、そしてちょっぴりのお金。**」



この言葉がこれからの皆様におかれましてそして私自身にとっても励みとなればと念じております。そして楽農学校での体験や学習が皆様の人生の中で少しでもお役に立っておればと祈っております。

### 源田 指導員

私は、平成16年9月楽農学校設立時から4年6ヶ月の勤務が経過しました。平成21年3月31日をもって退職いたしました。「作物は緑の葉が作る。緑の葉は根が作る。根は健全な土壌から生まれる。」と申します。



これからも花と緑の生涯学習インストラクターとして過ごしていきます。OB会の皆さんも学校の経験を糧にがんばって下さい。お世話になりました。

### 北風 指導員

テレビで「人生の楽園」の番組を見ていると羨ましが



る人がたくさんいると思います。兵庫県は、太平洋、瀬戸内、日本海と山あり、川あり、谷ありで環境変化に富んだ県で言うことなしです。このOB会が県下に散らばって、情報・悩み・問題・楽しさを共有できたらと思うと、病気になっておられるか、寝ておられるかと心が高まります。こんな気持ちになれるの小生だけかな・・・輪が広まることを祈ります。

### 室山 指導員

平成16年JAを早期退職し、1年間は農業をしなが



ら休養し、平成17年より楽農学校にお世話になり丸4年が経過致しました。その間に200数名方と出会い共に学習が出来たことを感謝しています。私は生まれも育ちも学校の近くであり、子供の頃は学校周辺が遊び場でした。近くには多く名所がありOB会の親睦を兼ねて名所巡りハイキングを計画されれば良いかと・・・案内致しますよ。

## 兵庫県楽農生活センター新年度組織

金川センター長  
米澤副センター長

### 管理部門

赤松次長兼総務課長  
藤原楽農交流課長  
山脇課長補佐  
中島課長補佐  
川中主任  
田村職員 上月職員 戸田職員 山本職員



### 学校部門

橋口楽農学校課長  
友藤職員 山崎職員  
指導員  
北風指導員 垣内指導員 室山指導員  
西馬指導員 本岡指導員 河合指導員  
松尾職員



## 煩農（煩惱）もまた楽しからずや

浅井 俊博

サラリーマンから農家へ転進しました。岩岡で農地を借りてトマトとメロン作りを一昨年からはじめました。毎日が日曜日。畑通いは隠れ家に向かう少年時代の浮き浮きした気持ち。・・・

「よーし、トマトの種をEM菌の希釈液で漬けて、発芽を促進してやろう。EM菌は病気にも効くぞー」

ある日の事「あっ、トマトの苗床が荒らされている、さてはイタチが昨夜来たな。どうやって、退治しようか？ そうだ、ハウスの周りに臭い木酢液を撒いて追い払え。効いた！」

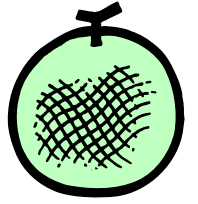


またある日の事「あれー、メロンにうどん粉病だ。石灰液が効くというが、毎日ひどくなる、とうとうメロンが萎びて割れた！」

またまたある日の事「今度はトマトに疫病が出た。換気だ、やられた葉を切れー！」

そしてまたある日の事「冬のトマトは一向に赤くならないぞー、売り物にはならないね。」

という訳で、「今年も赤字確定。税金なしだー。ヤッター！」よめさん一言、「アホラシー。」・・・



## 楽農の風（神戸新聞の記事より）

関本 篤子

正平調の記事より

「仕事はサラリーマン、職場は田んぼ 兵庫県内の企業で建設業を中心に農業参入への動きが広まりつつある一食の安全を守る農業への関心の高まりに加え、雇用維持の色合いが濃いー」



新しい方法による農業ですね。こんな会社は素敵だし今後増えるといいなと思います。普段はオフィスビルの中、机に向かってパソコン相手に仕事をしている方々も、野菜作りに関わればきっとストレスも減るし健康になれるし、農産物の消費が増える気がします。

その地域の農産物をその地域を訪れた方や住んでいる方に提供する・・・。無駄な輸送やコストを抑えたエコにつながりますね。旅館の宿泊者にとってこだわりの食材を使った食事は心にも体にもやさしくて美味しいと思います。

地域の記事より

「北区のNPO法人が牛ふんから作られたバイオ液肥を使った実験に取り組んでいる。にょいこの程度や肥料としての効果を試した上で、家庭菜園などでの活用を考えていくというー」



兵庫人の記事より

「姫路市北部の老舗旅館での話。離れ家的な宿での夕食はプライバシーに配慮した個室用のダイニングで。米、酒、肉とも地産地消にこだわり、目の前の菜園で採ったばかりの新鮮な野菜をたっぷりだす。有機で知られる特定農業法人の社長に教をを請い、旅館の専務自らが畑を耕しているー」

どうしても、ふんから作る肥料はにょいと保存方法、移動の面で家庭菜園では敬遠されがちですね。しかし新しい肥料が開発されてマイナス面が軽減されれば、家庭菜園等で幅広く使用する事が出来そうです。今後、広まるとよいですね。

## 楽農サロンのお知らせ

サロン室にホワイトボードとコルクボードを設置しました。「教えてください」「譲ります」等の会員の皆様の情報交換の場となれば幸いです。

少しではありますが、新聞の切り抜きも掲示しています。参考になればと思っています。

サロンに於いても活用法のアイデアも随時募集しています。



## 原稿大募集！！

「楽農生活、こんな風に楽しんでいます。」等の楽農生活の実践者の方のエッセー、体験談等を募集しています。（400字程度）「困りごとにはこんな対策で改善出来ました。」等の智恵についても投稿頂ければ有難いです。

送り先は下記へ



社団法人 兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター

〒651-2304 神戸市西区神出町小東野30-17

電話078-965-2047 FAX078-965-2659

（現在は楽農生活センターの電話等をお借りしています。楽農学校OB会宛と記載お願いします。）

## 編集後記

関本です。早いものでもう4月となりました。春は出会いと別れの季節ですね。兵庫県楽農生活センターも新たな年度の始まりです。お世話になった方々とのお別れは寂しいですが、教わったことを糧に新たな気持ちで頑張っていきたいと思っています。

指導員の方々をはじめ皆さんの力をお借りして、会報を発行する事が出来ました。ありがとうございました。

この先、紙面作り等でサポートして頂ける方がいらっしやいましたら、楽農学校OB会までご一報下さりますようお願いいたします。